

■トルクメニスタン：トルクメニスタンで中国向けパイプラインの開通式

トルクメニスタン産天然ガスを中国に輸送するためのガスパイプライン（トルクメニスタン～ウズベキスタン～カザフスタン～中国）が2009年12月14日に開通し、トルクメニスタン北東部の区画で通過国（ウズベキスタン、カザフスタン）を含む関係国の首脳が集まり、セレモニーが行われた。パイプラインは拡大する中国の天然ガス需要を充たす役割を担うもので、供給量は2010年までに150億 m^3 に達し、完全竣工する2013年には300億 m^3 まで引き上げられる見通しである。これまでトルクメニスタンの天然ガス輸出の90%（年間約440億 m^3 ）を占めていたロシアのガスプロム社が2009年4月から買取を中止している。2020年までに天然ガス消費量を3,000億 m^3 まで拡大する計画を発表した中国はトルクメニスタンにとって有望な市場である。ただし、ガス価格の設定方法についてはトルクメニスタンと中国との間で合意されていないといわれている。パイプラインの総延長は約7,000kmに及ぶが（トルクメニスタン領188km、ウズベキスタン領525km、カザフスタン領1,293km、中国領4,860）、その7割が中国領内にある。